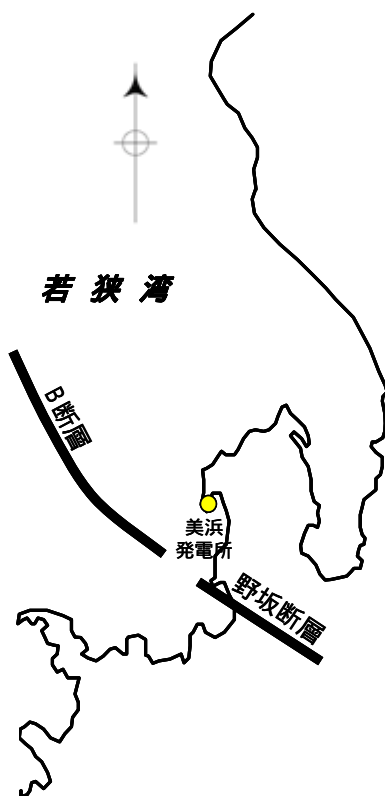


## 断層の連動に関する検討

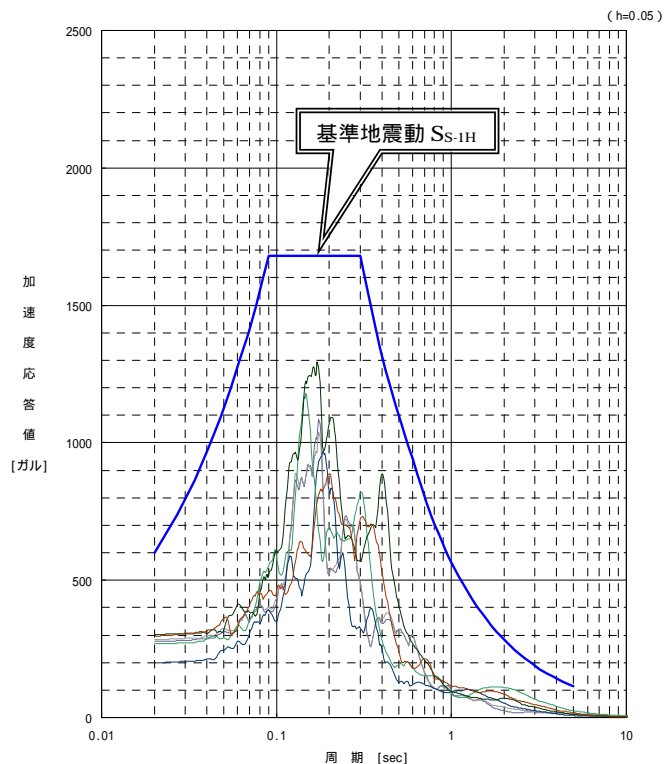
基準地震動  $S_s$  は、新耐震指針で「敷地周辺の地質・地質構造並びに地震活動性等の地震学及び地震工学的見地から施設の供用期間中に極めてまれではあるが発生する可能性があり、施設に大きな影響を与えるおそれがあると想定することが適切な地震動」とされており、地形および地質・地質構造の特徴から判断した活断層に基づき策定しています。

今回評価した活断層は詳細な地質調査に基づくものですが、地震調査研究推進本部等の評価とは異なっている活断層もあるため、仮に当社が設定した活断層の範囲を越えて隣接する活断層と連動して活動した場合を想定して、念のため影響を検討しました。検討にあたっては、敷地に対する影響の大きさを勘案し、第1図に示すB断層と野坂断層の連動を対象に、断層モデルを用いて地震動評価を行いました。

第2図に示すとおり、本ケースの地震動は基準地震動  $S_{S-1H}$  を下回ることを確認しています。



第1図 対象断層

第2図 地震動評価結果と基準地震動  $S_{S-1H}$  との比較 (EW方向)